

らぱすたいむず



職員の生け花がお正月の玄関を華やかに飾りました。

60年前の貴重な雛飾りをお借りしました。茶箱の中で丁寧に包まれ大事に保管されていた人形たちは、色あせず当時のままです。グループ内施設のケアハウス雅に飾っています。

春らしい陽ざしを感じるようになりま
した。
3月は花見月と呼ばれるほど、梅・桃・
桜などたくさんの花が咲き誇る季節
です。
自然の美しさに感動し、ついスマート
フォンで撮影したくなりますね。
また、雛飾りのあでやかさにも春を感
じます。子供に災いが降りかからない
ように、人生の幸福が得られるよう
にという家族の気持ちを込めて飾られ
た雛人形。その表情に我が子の顔が
重なるようです。

季節の変わり目

節分

おに 鬼は外



二十四節気のひとつで、最初の節気にあたる立春の前日、今年は二月二日に節分行事を行いました。
入所者様やデイケアの利用者様に、職員が扮する愛嬌ある鬼を目掛けて紅白の玉を投げていただきました。
フロアでは笑顔と笑い声があふれました。疫病退散の願いを込めた豆まきに例年にも増して力が入りました。

ふく 福は内



丑年のお守り

壁画



ラ・パスでは、入所者様の機能の回復や機能低下の予防を図るために、作業療法士が工作や手芸などの作業、生活動作の訓練などを行なっています。
今回は、新年を飾る盛大な壁画づくりに入所者様と一緒に取り組みました。
一年を通して、皆様を守って開運へとつなげてもらえるよう、丑年にちなんだ「牛だるま」を制作しました。画用紙を細長く切り、くるくると巻いたものを約5000個作り、模造紙に貼り付け完成させました。入所者様は皆様、おしゃべりをしながらも手先を器用に動かされ、少しずつでき上がってくる牛の顔に顔をほころばせていらっしゃいました。

梅ヶ枝餅

～おやつ時間です～

梅の花が満開になりましたね。天神様こと菅原道真公をまつる太宰府天満宮は、福岡を代表する観光名所のひとつ。太宰府と言えば梅ヶ枝餅です。この名前は、太宰府に流され軟禁状態だった道真公に近くのお婆が餅を梅の枝の先に刺して格子の間から差し入れたという伝説に由来しています。太宰府の参道では、毎月17日に古代米、25日にはヨモギを使った色付きのものも売られているそうです。ラ・パスでは厨房職員が梅ヶ枝餅を手作りし、利用者様に召し上がっていただきました。



菜の花

～黄色い絨毯（じゅうたん）～

2月のまだ寒い時期から春にかけて花を咲かせる菜の花。鮮やかな黄色の花畑は見た人の目に焼きついて離れなくなるほど美しい景色です。朝倉市内を流れる小石原川にも黄色い絨毯が敷かれています。

「快活」「明るい」といった花言葉は、その鮮やかな黄色い花からイメージされたものといわれています。ビタミンカラーでもある黄色は、見る人の心を明るく元気な気持ちにさせてくれますね。

また菜の花は、つぼみ、葉、茎を丸ごと食べることができ、栄養価の高い人気食材のひとつ！食卓に彩りを添えてみませんか。



ボードゲーム

～よし！置くぞー！～

ラ・パスデイケアでは、利用者様に自由に脳トレに取り組んでいただけるよう、手作りのボードゲームを製作しました。ゲームのルールは簡単。ボードに描かれている漢字と同じ漢字の駒を置いていきます。

野菜や動物、同じ部首など、種類別にたくさんのボードを揃えています。皆さまにも好評で、1日にいくつも挑戦される方もいらっしゃいます。このゲームでは、完成させようとする中で集中力が上昇し、正しい場所に駒を置こうと考えることで「思考力」も向上します。また、駒を繰り返し置く作業を通じて、指先を動かす「指先訓練」は、脳に良い刺激をもたらし、認知症の予防にもつながります。



職員紹介
今回は映画好きの
40代男性職員です。

- Q 介護の仕事についていたきっかけは
- A 中学生の頃、福祉の仕事に興味を持ち、福祉専攻コースに進学しました。そこで取得した介護福祉士の資格を生かせる寿泉会に入職して、今年で23年目になります。ケアマネジャーの資格も取得し、多くの高齢者の方に寄り添ってきました。
- Q 利用者様と日々接する中で心がけていることは何ですか。
- A 利用者様の気持ちに寄り添いながら、安心して生活していただける支援を心がけています。
- Q 職員との関わりの中で、気をつけていることはありますか。
- A 職員の考えや気持ちを引き出せるようなコミュニケーションをとって、話しやすい雰囲気を作っていくことを大切にしています。
- Q 休みの日は何をしていますか？
- A 自宅で映画を見たりして過ごしています。好きな映画は「バック・トゥ・ザ・フューチャー」です。
- Q 介護の仕事に興味を持っている方へのメッセージをお願いします。
- A この仕事は、身の回りの介助だけでなく、利用者様が日々の生活を楽しくいただけるように考えて動くことも大切です。考えて動いた結果、それを喜んでいただけることがやりがいにつながっています。また、人生の大先輩である利用者様から、たくさんのお話を学ばせていただき人間として成長できる、魅力のある仕事だと思います。





ともに働く仲間だから

ラ・パスでは、近隣の介護施設に先駆けて10年前からフィリピン人を介護職員として受け入れています。彼女たちは日本語をとてとても上手に話し、コミュニケーション能力も高く、日本人と同じ業務を担当しています。また、日本語教師を招き、介護福祉士の国家試験受験のための勉強時間を設けています。受験シーズンが近づくと、日本人職員と一緒に勉強会を開き、全員合格を目指して頑張っています。

近年、朝倉市内でも外国人労働者を受け入れる企業が増加傾向にあるようです。日本人と外国人が共生できる職場を築くためには、日本人と異なる価値観や文化の違いがあることを理解することが大切です。

ラ・パスでは、ともに働く仲間として互いに認め合い、尊重し合える関係性を築いていけるような取り組みを行なっています。職員がフィリピンに視察研修に行き、現地の文化にふれたり、自分が外国人の立場になったときの不安を体験したり、外国人受け入れについての外部研修への参加や、施設内での勉強会を開催したりしています。今後も、外国人との円滑な協働を目指して真摯（しんし）に取り組んでまいります。

スタッフ募集中！

ラ・パスでは介護職員・看護職員を募集しています。介護の仕事に興味があってもなかなか踏み出せなかった方や、看護師の資格を持っているけどブランクのある方も大歓迎です。施設内の雰囲気や動画をみていただくことも可能です。お気軽にお問い合わせください。

TEL0946-23-1322 (担当:三田)



面会制限継続のお知らせ

平素より格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。
新型コロナウイルスによる深刻な状況が続く中、当施設におきましても職員一同徹底した感染予防につとめているところです。また、ご家族様におかれましては、ご面会の制限をさせていただくことでご心配とご不便をおかけしております。
ラ・パスでは、ご家族様と入所様様が画面を通じて顔を見ながらご面会ができるように、スカイプ（テレビ電話）を設置しております。ご希望の方は事前にご予約の上、ご利用ください。また、施設でのご様子を収めた写真などもご覧いただけるようにしてまいります。ご遠慮なくお申し出ください。

編集後記

春の陽射しを感じられるようになった2月の日曜の朝。ラ・パスの後ろにそびえる大平山に登ってみました。久しぶりの登山。しよっぱなから続くゆるい坂道に体力のなさを実感しながらも、マイペースで歩き続けました。登山道の脇には、緑の葉に映える赤いツバキや、淡いピンクの花が一つだけ咲いている若い桜の木も見ることができました。気軽に登りやすいハイキングコースとして人気の大平山は、子供連れのファミリーやご夫婦も多くいらっしゃいました。すれ違う方々に、「こんにちは」とあいさつしながら、登り始めて約45分。標高315メートルの山頂からは、正面に耳納連山、眼下に豊かな筑後川の流れを見ることができ、気分爽快です。日頃の運動不足解消のためにも定期的に登ってみようと思いました。(N)

私たち社会福祉法人寿泉会グループは5つの施設で構成されています。

介護老人保健施設 ラ・パス / 指定介護老人福祉施設 甘木愛光園 / 住宅型有料老人ホーム 筑前梨ノ木城 / グループホーム 愛らんど / 軽費老人ホーム ケアハウス雅